

技能士検定に挑戦する鶴崎工1年生へ

市管工事協が工具など寄贈

技術指導も施 「次世代担う人材に」



「配管技能士」の資格取得に挑戦する鶴崎工業高の生徒。大分市葛木の鶴崎工業高

【大分】2月にある国家資格の「3級配管技能士」の技能検定を受ける鶴崎工業高の建築科1年生8人を応援しようと大分市管工事協同組合(織戸和彦理事長)が、実習に必要な工具・材料一式を寄贈した。生徒は「みんなで合格できるように精いっぱい努力したい」と喜んでいる。

8人は、将来に生かせるよう在学中に3級に挑戦することを決意。実習に必要な工具が同高にないことから学校が同組合に相談し、組合が担い手確保や技術の継承につながる寄付を申し出た。

贈られたのはパイプを切るときに固定する脚付パイプバース8台、パイプ同士をつなげるアルミコーナーレンチ8本、のこを押して鉄を切る弦かけのこ8本など総額50万〜60万円相当。昨年12月に、同市葛木の同高で贈呈式があり、同組合の織戸理事長ら役員や生徒、県教委の職員ら計20人が出席。織戸理事長が「技術習得への意欲を高め、次

世代を担う人材に育ってほしい」とあいさつし、矢部英明校長に目録を手渡した。

同組合は1月中旬と下旬に生徒への技術指導も実施する。同高の木村優誠さん(16)は「水道などのインフラは生活の上で欠かせないもの。将来の職業選択で活用できると思い、受検を決めた。資格を取れるように頑張りたい」、建築科の小野利幸教諭(52)は「高価な道具を人数分用意できる環境は他にない。実習でも使用でき、他の生徒が配管技能士を志すきっかけにもなる」と話している。

(野上里菜)

誰もが楽しめる舞台を

さくらの杜 支援校 バリアフリー演劇上演

【大分】大分市東大道の「公衆する」東京演劇集団「バット」を指示する文字や手

米オースティンへ中学生6人を派遣
大分市役所で出発式



出発式に参加した中学生ら

卓球で全国3位
矢野さんが報告
マスターズ

【由布】全日本卓球選手権大会・マスターズの部(昨年11月23、24日・石川)の女子シングルスで

大規模災害を想定 下郡小で防災訓練



①揺れに備えて机の下に隠る。②揺れが止まると、机の下に隠る。③揺れが止まると、机の下に隠る。

【大分】阪神大震災をきっかけに国が制定した「防災とボランティア週間」(15日〜21日)に合わせて16日、大分市下郡北の下郡小で大規模地震と津波の発生を想定した防災訓練があった。

地震発生を知ら放送が流れると、の下に隠れ、地震たことを確認。津のため、3階の教難した。その後、市中央消防署員のり、阪神大震災や震災の犠牲者に黙さげた。

6年の安部湊「落ちていて避難

大会での最高位8。「ベスト4のった。初めて突破かった」と喜ぶ。

毎日ボールに触